

【日 時】 平成 26 年 4 月 2 日

【訪問先】 富岡東小学校 吉原準一校長先生

【概 要】 児童数 382 名 13 学級 各学年 4 学級(2 年生のみ 3 学級)  
特別支援学級 2 組 職員数 27 名

## 【視察報告】

### 1、校長先生のモットー

『守破離』仏教の言葉。人生において守・破・離は様々な意味に置き換えることが出来る。

### 2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の子供たちや、日本国籍だが日本語が不自由な子供たちがおり、国際教室を設置している。保護者が希望した場合は、個別に日本語の指導も行っている。三者面

談時にコミュニケーションが取れず、国際交流ラウンジから通訳のボランティアを派遣してもらっている。日常生活と勉強面での日本語は異なり、勉強面での日本語に慣れるには時間がかかる。



### 3、地域のボランティアの協力

学援隊はいないが、現在その準備を進めている。サッカー・茶道など、いくつかの部活で外部指導を行っている。

### 4、地域との防災の取り組み

年に数回避難訓練を実施しており、同じことの繰り返しにならないようにしている。

### 5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

郷土愛を授業の中に取り入れることはなかなか難しい。また道徳は授業だけで教えられるものではなく、友達・先生・地域の方との交流を通して身につけていくもの。

### 6、体力強化や部活動の取り組み

部活動を推奨しているが、部活動をする子供たちは減少傾向にある。また顧問の先生が自分の専門外の部活動を担当するケースもあり、その負担が大きくなっている。

### 7、学校組織の強化・人材育成

家庭科の先生が圧倒的に不足している。また中堅どころの先生も少なく、若手研修とともに、中堅どころの先生たちの研修回数を増やす必要がある。

### 8、その他

家庭科の学習の一環として、2 年生が学校近くの並木保育園に行き、園児たちと交流する保育学習がある。また並木第一小・並木中央小・富岡小の小学生を招き、授業体験や部活動体験を行うことで、小学生との交流を図るとともに、小学生が入学しやすい環境作りを進めている。

## 【所感】

校長先生はいつでもすぐに動けるようにと作業着を着ていた。何かあればまず自分が動くという姿勢はとても印象的だった。国際教室の設置や日本語の個別指導・通訳ボランティアの活用など、外国につながる子供たちに対する配慮がしっかりなされており、全生徒のより過ごしやすい学校生活実現に向けて学校運営されている様子が見えた。

